

浅口市立金光竹学校 令和6年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和6年10月18日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、話合いの場面での話し手の意図や工夫を読み取ることができている。物語文で登場人物の心情を読み取ることもできている。 ○算数科では、問題文から正しく立式したり正しい式を選んだりすることができている。 <課題> ▲漢字の書き取りの力が十分でない。 ▲算数科では、全体的に全国平均を下回っているが、特に「数と計算」の領域、記述式の問題で課題が見られた。	<成果> ○将来の夢や目標をもっている児童の割合が高い。 ○授業が「好き」「よくわかる」と感じている児童が多い。 <課題> ▲テレビゲームや動画を長時間視聴する児童の割合が高い。 ▲国語科で物語を読む時に、登場人物の人物像や物語の全体の表現に着目する児童の割合が低い。 ▲算数科の問題で別の解き方を考えたり、学習したことをその後の学習で活用しようと考えたりする児童の割合が低い。 ▲ICT機器を、「自分のペースで」「学習ツールとして」使い、「わかりやすく伝えることができる」と感じている児童の割合が低い。

岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○3年生の国語科と算数科、5年生の算数科では、全体的に全国平均を上回っている。 ○4年生については、国語科では漢字やローマ字、国語辞典の使い方などの理解力が、算数科では四則計算や図形の理解力が付いている。 ○5年生の国語科では、文章の読み取りや表現の力が身に付いている。 <課題> ▲4年国語科では文章の読み取りや表現、4年算数科では式の意味の理解やその説明、グラフの読み取りに課題があった。 ▲5年生の国語科では、漢字や修飾語、ことわざの理解が十分でなかった。	<成果> ○将来の夢や目標をもっている児童の割合が高い。 ○毎日1時間以上学習している児童、自主学習に取り組んでいる児童の割合が高い。 ○授業で、自分で考え、自分から取り組んでいる児童が多い。 <課題> ▲ICT機器の活用が十分にできていなかった。 ▲学習した内容を見直して次の学習に生かしたり、授業で学んだことを他の学習に生かしたりする児童が少ない。 ▲「自分にはよい所があると思う」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える児童の割合が低い。

改 善 策
学 校 で の 取 組
①文字数を指定されている中で表現できるように、授業の中(5分間作文、授業の振り返り、教材文の感想など)で、文字数を制限して文章表現する機会を設ける。 ②長文の問題に慣れるため、朝学習などで学力テストの問題や県から配布されている問題集に取り組む。 ③算数科の学習では、児童の実態を捉え、それに応じたわかりやすい授業づくりができるよう研修を進める。 ④クロームブックを活用し、「画面を見て問いを読み取る力」「入力・表現する力」を身に付けることができるようにする。
一貫教育金光学舎での取組
○中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間(「家庭学習がんばりカード」)を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。 ○「浅口市立小学校・中学校クロームブック学年別スキル表」を活用し、系統的な指導を各学年で行う。 ○生活習慣強化週間「早ね!早おき!朝ごはん!金光 学力アップ大作戦」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。 ○金光地区学校運営協議会の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において連続した取組を実践する。
家庭・地域へのお願い
○メディアに触れる時間を定め、毎日守ることができるようにお願いします。 ○「家庭学習がんばり週間」を活用し、計画的な家庭学習の仕方についてアドバイスや励ましをお願いします。 ○家族間の挨拶や和やかな会話を増やし、学校であった話を聞くことや頑張りを認める声掛けをお願いします。